

甲斐市議会 (仮称) 篠原地区公園整備事業特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和7年11月26日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員 (8名)

委員長	藤原正夫君	副委員長	滝川美幸君
	山本英君		山坂賢太君
	若尾彰子君		清水和弘君
	金丸幸司君		内藤久歳君

欠席委員 (1名)

谷口和男君

傍聴議員 (2名)

議長	秋山照雄君		依田那津希君
----	-------	--	--------

説明のため出席した者の職氏名

まちづくり 振興部長	小宮山尚君	こども子育て 健康部長	堤貞治君
建設課長	保坂俊和君	子育て支援 課長	中村大輔君
建設整備係長	秋山裕介君	公園緑地係長	清水隆君
児童係長	丸茂貴幸君		

職務のために出席した者の職氏名

書記	小林久美	書記	深澤隼人
----	------	----	------

内容

1 しのはら公園子ども体験学習施設の愛称募集について

2 その他

開会 午後 1時29分

○書記（深澤隼人君） ご参集大変お疲れさまです。

ただいまから（仮称）篠原地区公園整備事業特別委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいります。

それでは、次第の2、委員長挨拶、藤原委員長よろしくお願ひいたします。

○委員長（藤原正夫君） 改めてこんにちは。ご苦勞さまでございます。

議員各位には12月定例会の前、代表一般質問と色々な形でお忙しい中ですが、今日こうやって、急遽ちょっと委員会招集したところでございます。皆様、本当に興味深い愛称の最後の段階に迫ったところでございます。短い時間ですが、よろしくお願ひをしたいと思います。

早速、始めます。

ただいまの出席委員は7名であります。定足数に達しておりますので、これより（仮称）篠原地区公園整備事業特別委員会を開会します。

なお、谷口委員、金丸委員については遅刻する旨の届けが来ました。

なお、本日は傍聴を許可しますので、ご承知おきをください。

○委員長（藤原正夫君） それでは、これより次第の3、内容に入ります。

（1）しのはら公園子ども体験学習施設の愛称募集について、担当より説明をお願いいたします。

中村子育て支援課長。

○子育て支援課長（中村大輔君） それでは、子育て支援課から、しのはら公園子ども体験学習施設の愛称募集について、ご説明をさせていただきます。

なお、別紙4につきましては、応募のあった愛称の一覧ということになっておりますけれども、一部個人の氏名等を用いた愛称もありまして、データでの配信にそぐわないというものであったため、本日は紙の資料の配付とさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、資料の1ページをお開きください。

(1) したのはら公園子ども体験学習施設の愛称募集につきましては、市民から広く親しみを持ってもらえるよう、令和7年10月1日から31日まで、1か月間、市ウェブサイトや広報紙、母子手帳アプリ「母子モ」、SNS等で周知を図り、応募用紙とインターネットの投稿フォームで募集を行ったところであります。

また、併せて市内小・中学校に対しましては、児童・生徒からの応募について協力を依頼するとともに、各家庭への安心メール配信についてもご協力を依頼したところであります。

その結果、最終的には応募総数が3,456件となりました。応募の内訳につきましては、市内が3,147件で、うち小・中学生が2,837件、市外が309件でありました。

次に、(2)の選考過程及び選考方法につきましては、初めに3,456点の中から、子育て支援課の課内で相談いたしまして、採用可能性のある39点の候補を選定いたしました。

応募作品一覧につきましては、紙でお配りした別紙の4、課内の選考一覧につきましては、別紙の2のとおりとなっております。

資料1ページの②になりますけれども、特許庁の検索フォームを使いまして、既に商標登録をされている名称を除外いたしました。

また、ウェブ検索を使いまして、似たような名称がほかの施設で使用されていないかどうか使用状況の確認を行うとともに、企業名との重複等についても確認をし、候補から除外したところであります。

別紙2の1ページから4ページ、こちらが商標登録済み等により却下された作品となっております。

もう一度資料の1ページに戻っていただきまして、③のところです。多くの方から応募がありました「したのはらランド」や「したのはらランド」等につきましては、甲府市にあります「おしろランド」との名称の類似性が高く、また市の独自性に欠けること、指定管理を募集する際に「おしろランド」の系列施設であるとの印象を持たれてしまうという懸念があることから、除外をしたところであります。

また、「したのはらパーク」や「わくわくパーク」等につきましては、公園と混同した名称であるため施設の愛称としては選考外としたところであります。

別紙の2の5ページと6ページに応募が多かったもの、また選考外になった作品の一覧とその選考外とした理由について、記載をしてあります。

資料1ページの④、以上の選考を行って、残った候補につきまして、市の幹部にも意見聴

取を行いまして、最終候補の案を選定いたしました。

⑤になりますけれども、これらの過程を経た後、関係部署の決裁や市幹部の決裁をいただき、最終候補が決定したところであります。

資料、めくっていただいて、資料の2ページをお願いいたします。

次に、(3)の最終候補名及びウェブ投票についてとなりますけれども、こちら別紙3のほうをご覧いただきたいと思います。

別紙3で子供から大人まで幅広い年代に親しみやすく覚えられるものであることや、本施設の特徴である子育て、遊び、学び、自然の要素を取り入れていること、また語呂や由来、理由等、愛称としてふさわしいかどうかというのを基準に選考を行いまして、「もっかい」「ikotoki」「かいのび」「こもりん」「かいつむ」の5点を選出いたしました。

なお、愛称の説明につきましては、別紙3の表に記載のとおりであります。

資料2にもう一度お戻りいただきまして、②のウェブ投票につきましては、令和7年12月からインターネット投稿フォームより愛称にふさわしいと思う1点を選んで投票をしていただきます。最多得票の最終候補名を愛称として採用し、採用者には記念品として銘板のプレートを作成し、公園に掲示する予定となっております。

最後、(4)の今後のスケジュールにつきましては、令和7年12月に広報の12月号、また市のウェブサイト、SNS等で周知をし、ウェブ投票を実施いたします。令和8年1月には投票結果を集計しまして、結果を幹部会議に報告するとともに、2月に愛称を決定いたします。

発表については、ウェブサイト等で周知するとともに、3月の広報紙に掲載をしてみたいと考えているところであります。

以上、しのはら公園子ども体験学習施設の愛称募集についての説明となります。

ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（藤原正夫君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで、委員並びに職員各位に申し上げます。

質問は、一問一答とし、また、質問、答弁は、簡潔、明瞭にさせていただきますよう、お願いを申し上げます。

それでは、説明に対する委員の質疑を行います。

質疑等がありましたら、お願いをいたします。

よろしゅうございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 1つ確認だけど、最終選考する場合、ここに掲載させてある内容で、応募するのかなのか、その辺、新たに何か加えるとか。この内容で最終選考する、情報発信をするのか。

○委員長（藤原正夫君） 子育て支援課長。中村課長。

○子育て支援課長（中村大輔君） 別紙3の内容を変更せずに、これをお示しした中で、募集をかける予定であります。年齢と職業については、除いた中で、この説明についてはこのままの形でウェブ投票をお願いしたいというふうに考えているところです。

以上です。

○委員長（藤原正夫君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それは、提案者から来た趣旨ですよ。明文する趣旨、全てここに書いてある、また本人が出した内容か、それとも多少アレンジしてあるのか、その辺どういう形。

○委員長（藤原正夫君） 中村子育て支援課長。

○子育て支援課長（中村大輔君） 基本的には、応募者の方のものをそのまま採用しておりますが、一部意味の通じにくい箇所ですとか、そういったものがあつた場合については、ご本人様に確認した中で変更をさせていただいているところです。

以上です。

○委員長（藤原正夫君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、この5案については、提案者にもう通知してあるということね。こういうことで。

○委員長（藤原正夫君） 中村子育て支援課長。

○子育て支援課長（中村大輔君） 先ほど申し上げたとおり、意味のちょっと、なかなか理解が難しいものについては、確認ということで、お電話させていただいておりますけれども、全て連絡をしているということではありません。

○委員（内藤久歳君） なるほどね。表現の修正した人のみに確認をして、一応当局の考えも入れた、そういうこと。

○子育て支援課長（中村大輔君） おっしゃるとおりです。

○委員長（藤原正夫君） ほかにございませんか。

[発言する者なし]

○委員長（藤原正夫君） よろしいですね。

金丸委員は今、来たばかりなんで。

簡単に説明すると、ここにあった3,400何がしの応募の中に、これはちょっと。すみません。

中村子育て支援課長。

○子育て支援課長（中村大輔君） 簡潔に説明申し上げますと、3,456件、小・中学校、また一般の方から応募がありまして、その中から選んだ5点になりますけれども、この選定外になったものの理由といたしましては、商標登録等がされているものやほかの施設で使用されているもの、こういったものを除くとともに、「しのはらランド」ですとか、「しのはらランド」といった、甲斐市の近隣にある「おしろランド」との関連性が、似たような、類似性があるものですとか、そういったものは市の独自性を損ねるということで除外しているとともに、「しのはらパーク」といった「パーク」という名称がつくものについては、今回の募集については施設ですので、あえて選定から外させていただいたと。残ったものについて、5点になりますので、そちらについて12月からウェブ投票をさせていただきたいということになります。

以上です。

○委員長（藤原正夫君） ありがとうございます。

大体、かいつまんで説明受けたけれども、よろしいですね。

それでは、質疑は再度ございませんね。

金丸委員、よろしいですね。

[発言する者なし]

○委員長（藤原正夫君） それでは、なければ委員の質疑を終わります。

以上で、しのはら公園子ども体験学習施設の愛称募集についてを終わります。

引き続き次第の4、その他を行います。委員より、特別委員会関係でその他何かありましたらお願いをいたします。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ちょっと確認したいんですけども、前のときにいつだったかな、あれに対して寄附をした人に何か銘板をどうのこうとというあれがありましたよね、たしか。その辺のところは今どんな具合になっているのか、ちょっと説明をお願いします。

○委員長（藤原正夫君） 清水公園緑地係長。

○公園緑地係長（清水 隆君） お答えします。

昨年度、募集しましたクラウドファンディングで応募がありまして、また今年度、また来年度も一応募集、クラウドファンディングの募集を予定していますので、それも含めた上で銘板を作成して掲示するという予定になっております。

以上です。

○委員長（藤原正夫君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると今、継続でやっているわけだよね、それ大体最終的な締切りっていつ頃を予定してるわけ。

○委員長（藤原正夫君） 清水公園緑地係長。

○公園緑地係長（清水 隆君） お答えします。

令和7年度、今年度につきましては、これから募集をして、恐らく年末にかけて募集する予定になっています。

令和8年度に関してはまだ予定が決まっていないので、そこはちょっとまだ未定となっております。

以上です。

○委員（内藤久歳君） 了解。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

○委員（内藤久歳君） はい。

○委員長（藤原正夫君） ほかにございませんか。

[発言する者なし]

○委員長（藤原正夫君） なければその他を終わります。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。

これもちまして、（仮称）篠原地区公園整備事業特別委員会を閉会します。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 1時43分